

宇都宮市立豊郷南小学校 第4学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学級活動の時間に、友達同士で話し合ってクラスの決まりなどを決めていると思う」と肯定的に答えた児童の割合は91%で県と比べて5.4ポイント高い。学級の問題点や、やりたいことを児童が主体的に自分のことと思って話し合うことができている。今後も児童同士で積極的に話し合う場を設けていきたい。

○「授業を集中して受けている」の肯定的に答えた児童の割合は、93.7%である。「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」と肯定的に答えた児童の割合は、95.5%である。どの教科においても、意欲的に取り組む様子が見られる。友達との意見交換では、話をよく聞き、多様な考えを受け入れることができている。さらに、自分の考えに自信をもてるようにし、友達の前で自分の考えや意見を発表することに自信をもたせたい。

○「〇〇の学習は、しょう来のために大切だと思いますか」の肯定的に答えた児童の割合は、国語、社会、算数、理科において90%を超えている。また、「学習して身に着けたことは、しょう来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の肯定的割合も97.3%と高い。授業の様子を見ても課題解決のために真剣に取り組み、前向きな態度がうかがえる。

●「家で、自分で計画をたてて勉強をしている」「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」の項目では県と比べてそれぞれ10%以上下回っている。一方で、「家で学校の宿題をしている」「学校の宿題は自分のためになっている」の肯定的に答えた児童の割合がいずれも90%を上回っている。宿題や決まっている課題に対しては取り組みようとする児童が多いが、家庭学習の習慣が身につけていて自発的に学習している児童が少ない。自主学習等で間違えた問題をやり直すなどの復習の仕方を示して、自分で考え見直しをもって計画的に学習する習慣を身に付けられるように声掛けをしていきたい。

●「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、辞書を使って調べている」「わからない国名や地名があったら、インターネットや地図帳を使って調べている」の肯定的に答えた児童の割合が県の平均と比べて9ポイント低い。授業の中で辞書やインターネット、地図帳を使って調べる機会を増やし調べて分かった実感を味わわせる経験を積み重ねるようにしていきたい。